

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	運動公園周辺地区公園施設新設事業			会計	款	項目	大事	小事	
				01	08	04	07	02	70
政策	O1	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）		主管課	みどりの課				
施策	1-1	生態系に配慮した公園・緑地・水辺等空間の整備・管理		主管課長	天川 一典				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	運動公園周辺地区内の公園等	意図	土地区画整理の整備が進行するエリアに配置された公園等の整備を行い良好な環境形成に資する。
事業内容	つくばエクスプレス関連地区の運動公園周辺地区内の公園等について、施設整備事業を実施する。			
事業開始から現在までの状況変化	市民の公園に対する要求が高度化してきている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	運動公園周辺地区内公園整備面積	0	2	1.20	ha	→→
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）  
 ・総合運動公園市民総合体育館周辺整備として園路広場・駐車場整備工事と植栽工事を行った。A=1.2ha

事務事業のコスト	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	174,770,400	152,033,000	
事業費(b)(円)	173,264,400	150,660,000	
うち一般財源	80,464,400	55,660,000	
職員給与費(c)(円)	1,506,000	1,373,000	
人役・職員(人)	0.20	0.20	
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	県との協議と共に、庁内の打ち合わせを密にしてゆく。	③取組の課題	区画整理事業が施行されている区域のため、工事の進捗状況に合わせて工事を進めて行く必要がある。
②今年度(H28)に実施した取組	県との工事範囲を調整し、体育館建替えに伴う周辺整備を行った。	④今後の改善計画	県の実施する区画整理事業の工事進捗状況に合わせて工事を実施する。